

# 南小だより

佐世保市立吉井南小学校  
No.33 R. 5. 1. 27 (金)  
文責：山口伸一郎

## 「冬」を感じ、楽しむ姿が見られました。

テレビのニュースでも大きく報道されましたが、24日(火)から25日(水)にかけては、全国的に10年に一度の大寒波ということで、佐世保でも最低気温はマイナス、積雪や道路凍結があり、吉井町でも凍えるような冷え込みとなりました。しかしながら、子どもたちは朝からいつも以上に元気いっぱい。登校中に、あちらこちらにある「つらら」を見つけてきたり、中庭の池の氷を触ってみたいり、雪を求めて友達と運動場やひまわり広場を駆け回ったり…。それぞれに、めったにない冬の日を感じとり、楽しむ姿が見られました。



＜雪の残る「中庭」の風景＞

私たちのふるさと吉井町は、四季折々にいろいろな花が咲き、紅葉や積雪等、季節ごとにいろいろな表情を見せてくれる、とても自然豊かな素晴らしいところです。今回は、いつも以上に厳しい寒波の到来でしたが、そのような中で子どもたちはしっかりと季節を感じ、ふるさとの「冬」を心から楽しむ姿が見られたことをとても嬉しく思いました。子どもたちには、日々の生活において、いろいろな場面で季節の花や作物、昆虫等、ふるさと吉井の豊かな自然を心と身体にめいっぱい感じ、豊かな人間性を育みながら大きく成長してほしいと願っています。

早いもので、もうすぐ1月も終わろうとしています。春に向けてもうしばらく寒い時期が続くものと思われ。まだまだ、先日のような雪模様の日もあるかもしれませんが、子どもたちには健康に気をつけて生活し、寒さに負けない心と身体を育んでほしいと願っています。ご家庭でも、子どもたちへの励ましを、どうぞよろしく願いいたします。

## 食べ物や携わる方々に感謝して、おいしく給食をいただきましょう。

1月24日(火)～30日(月)は、『全国学校給食週間』です。学校では、「給食に対する理解と認識を深める」、「給食を通して、食べ物大切さや栄養・食事のマナーについての理解を深める」、「給食に携わる人々や食べ物に対する感謝の気持ちを育てる」等を目的に、2月2日(木)の朝の時間を使用して、リモートによる給食集会を予定しています。給食委員会の子どもたちが企画し、準備してくれた映像を視聴しながら、各学級で給食や食事に関する様々な内容について学んだり考えたりする内容となっています。

本校では、学校栄養職員の吉居先生が中心となり、子どもたちの成長を考えた栄養いっぱいの献立が考えられ、調理士さんたちも、冬の寒さのなか、朝早くから「みんなに毎日おいしく食べてほしい」、「好き嫌いなく食べて、大きく成長してほしい」という思いをもちながら、心を込めて給食を作っていただいています。短い時間ではありますが、給食集会での学びを感謝の気持ちへとつなげ、「好き嫌いなく、給食を残さずおいしく食べる」ことを実践してほしいと思います。

学校では、食べ物大切さや栄養・食事のマナー等、給食を通じた『食育』を、これからも大切にしていきたいと思っております。ご家庭でも、ぜひ話題にいただき、ご協力をよろしく願いいたします。

